

学校経営管理全体計画 (構想)

教育目標：心豊かで しなやかな 生徒の育成

- ★日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領などの関係法規
- ★滋賀県や栗東市の教育振興基本計画・教育方針
- ★中学校区としての取り組み
- 子育て教育Nextプロジェクトの推進



栗東市立栗東西中学校

校訓：「自主自律」「不撓不屈」「協心協力」

【めざす学校像】「人間の尊厳」と「生命の尊重」の実践校

1 人権・同和教育を根幹に置いた学校づくり

- すべての教職員が、部会が、学校教育目標の実現においてみんなで取り組む。
- 子どもの背景を見るとともに教職員が自らの差別性に向き合う。

2 学校・保護者・地域との連携による学校づくり

- それぞれの生き様や価値観を共有し、共に子どもを育てていく。

【めざす教師像】

- 生徒に寄り添い、生徒とともにがんばる教師
- 団結し、高め合う教師
- つながりを大切にできる教師

【めざす生徒像】

「自立できる生徒」

- 自分を大切にできる生徒
- 人を大切にできる生徒
- 目標を持ち、達成に向けて進む生徒

〈本年度の重点目標〉 スローガン：『ひとりじゃない』

- ①生徒の意見表明権を尊重し、自立して生きる力の育成に努めます。
- ②生徒一人ひとりが互いのしんどさを受け止め、尊敬しあえるつながりを作るとともに、自己存在感や充実感を感じ、安心できる居場所づくりに努めます。
- ③家庭や地域と連携し、教育相談などあらゆる場を通して生徒の実態把握に努め、いじめや不登校、問題行動の防止に努めます。
- ④生徒の自主的・自発的な学習の定着を目標として、「できる・楽しい・学びを実感できる」授業の工夫改善に努めます。
- ⑤「ありがとう」を大切に、あいさつや言葉遣い、服装、清掃など基本的な生活習慣の定着を図るよう指導に努めます。
- ⑥授業のユニバーサル化を進め、生徒が自信を持って学びに向かうとともに、学校環境を変えることで生徒の可能性を引き出していきます。

学校経営の柱と具体的方策】

校内研究推進委員会

- 研究主題
「繋がる力をつけるための話し合い活動の充実
～子どもの声を反映できる学級・学校づくり～」
- ねらい
心理的安全性のある学級（学校）の中で、互いの意見を表明・尊重する態度を養い、教師と協働して課題解決に向かう生徒を育てる
- 研究の内容及び方法
○子どもの自治の力が育まれる風土づくり
・「学級会」の実施
①学級や学校生活における諸問題の解決
②学級や学校内の組織づくりや役割の自覚
③学級や学校における集団の生活の向上
○子どもの思いや願いが反映される環境づくり
・「子どもの権利」と「こども基本法」の学習
①学校行事・学校のまきり等について、子どもの声を聴く
②生徒との協働実行委員会を組織し、対等な立場で話し合う
○子どもの良さや持ち味が生かされる主体的な学びづくり
①話し合いや発表の時間を大切に授業づくり
②子ども主体で展開される授業・学習形態の工夫

人権・同和教育推進委員会

- 推進目標
(1)確かな人権感覚と実践力を養い、将来への展望をもつ生徒の育成
(2)なりたいたい自分を自覚し、失敗を恐れず挑戦できる生徒の育成
(3)互いのしんどさや生きにくさを受け止め、尊敬しあえるつながりの育成
(4)差別を許さず、ともに支え合い、【ひとりじゃない】と感じる集団づくり
- 取り組み内容
①被差別地域の子どもの支援体制の確立
②ヒューマンタイムの計画と実施
③人権週間の取り組み
④西中ほっとタイムの企画・運営
⑤職員研修の企画・運営
⑥学校と諸機関との連携(ひだまりの家を含む)
⑦差別事件・事象等に対する取り組み
⑧子どもの声が反映される集団づくり
- 活動の重点
①被差別地域の子どもの支援の強化
②ヒューマンタイムの取り組みの計画的な実施
③職員研修の充実
④保護者・地域との連携
⑤生徒が安心して過ごせる学級経営

特別支援教育校内委員会

- 特別支援教育の方向性
システムで支える効果的な特別支援教育
- 今年度の目標と具体的な計画
①特別支援教育推進のシステム作り
・現状を把握し、対策を考え、実行するシステムを構築する。
②校内における推進
・基礎的環境整備、合理的配慮、授業のユニバーサルデザインを進める。
③個別のサポート
・個別の支援が必要な生徒を早期に把握し支援をする。
・通常学級、特別支援学級、通級による指導、個別学習など、生徒のニーズに合わせた指導や支援をする。
④保護者のサポート
・教職員や関係機関が連携して保護者をサポートする。
⑤関係機関との連携
・発達支援課や医療などの機関と連携して支援をする。

生徒指導推進委員会

- 生徒指導の指針
つながりで支える生徒指導～全体で育て、個を支える～
①生徒同士のつながりを育てる
②組織のつながりで支える指導・支援
③家庭とのつながりを生かした連携・協力
- 生活指導部の活動目標と重点
・未然防止の指導の実践と迅速な問題行動対応を推進
・規律ある学習環境の保全と特別活動での人と繋がる力の定着
→適切な初期対応と未然防止を目指す積極的な生徒指導
①丁寧な情報収集と確かな記録
②基本的な生活習慣・規律に関わる指導の継続、未然防止の徹底
③いじめアンケートにおける丁寧な指導
- 生徒支援部の活動目標と重点
すべての生徒に安心を保障するしくみづくり
①「受容・承認」役を果たすこと
②暴力やいじめ被害生徒の救済支援をすすめること
③症状をかき消すことより、心の元気を保つスキルを与えること
④保護者と担任のつながりを支えること

人 権 ・ 同 和 教 育 の 推 進

学校評価

【学校運営協議会の提言】

学校・家庭・地域・保護者との連携強化
(*年間3回の開催)

【評価指標】

・学校関係者評価－保護者等(年1回)
・内部評価－教職員、生徒(年1回以上)

【評価の観点】

・学校運営全般と教育目標との関係
・目標の具体化と達成のための教育活動
・保護者や地域への啓発と連携

【達成目標】

・目標達成のための指標として、各実績評価において、高い評価をめざす。